

2019年8月6日

## 「第9回 JCA ユースクワイア」開催について

期間：2020年3月24日（火）～3月27日（金）（リハーサルキャンプ）  
3月28日（土）（コンサート）


\*\*\*

一般社団法人全日本合唱連盟、朝日新聞社は、2020年3月24日（火）から3月28日（土）まで、次世代の合唱歌手・指導者の育成プロジェクト「第9回 JCA ユースクワイア」を長崎県長崎市で開催します。

「JCA ユースクワイア」(Japan Choral Association Youth Choir, JCA YC) は2012年に全日本合唱連盟と朝日新聞社が創設した音楽教育プロジェクトです。このプロジェクトでは、いま世界の主要な合唱シーンで活躍する合唱指揮者・作曲家・教育者を指導者に迎え、厳しいオーディションを経て日本各地から集まった若い歌手40名（16～28歳）とアシスタントコンダクター1名（25～35歳）が、毎年3月の5日間、高い音楽技術と豊かな音楽経験を培います。過去8回の開催で、延べ330名以上の優れた歌手・合唱指揮者・音楽指導者が輩出されてきました。

指導の成果は、リハーサルキャンプにつぐ1回のコンサートで披露され、多くの聴衆の心に残る演奏を届けています。

\*\*

「第9回 JCA ユースクワイア」開催概要		
公演名	第9回 JCA ユースクワイア (日英交流年「UK in JAPAN2019-20」参加イベント)	UK IN JAPAN 2019-20  GREAT for PARTNERSHIP
指導・指揮者	ナイジェル・ショート（英国）	
開催地	リハーサルキャンプ：長崎大学長崎創楽堂 〒852-8131 長崎県長崎市文京町1 コンサート：活水高等学校チャペル 〒852-8566 長崎市宝栄町15-11	
コンサートチケット	2019年12月販売開始（予定）・入場料1,500円（全席自由）	
主催	一般社団法人全日本合唱連盟、朝日新聞社	
後援	ブリティッシュ・カウンシル	
主管	長崎県合唱連盟	
賛助出演	長崎大学教育学部附属中学校合唱団	
ホームページ	<a href="http://www.jcanet.or.jp/event/jca-youth/JCAyouth-index.htm">http://www.jcanet.or.jp/event/jca-youth/JCAyouth-index.htm</a>	

### ●お問合せ●

一般社団法人全日本合唱連盟  
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社内  
tel: 03-5540-7813 fax: 03-3544-1964  
URL: <http://www.jcanet.or.jp>  
e-mail: [event@jcanet.or.jp](mailto:event@jcanet.or.jp)  
担当：野口、眞田、露木

## JCA News Release

### JCAユースクワイアの特色

#### ●集中型プログラム

メンバーは連続4日間の集中型リハーサルキャンプで、開催地に位置する国内有数の音楽ホールで行われるコンサートに向け、演奏曲の練習に励みます。



#### ●豊かな人間性のために

メンバーは4日間・30時間を超えるリハーサルの中で、音楽技術はもちろん、初めて出会うメンバーとのコミュニケーション、協調性など音楽づくりに必要な多くのことを理解・体得していきます。また、各開催地に特有の風土・歴史・文化に触れ、豊かな人間性を育んでいきます。第8回は特別企画として海外からアジア地域のメンバー4名を受け入れました。



#### ●音楽振興・社会活動

リハーサルの一部公開や、開催地の中学・高校生を対象にした合同演奏セッションを実施し、音楽を通じ地域の音楽活動の活性化の一助となるよう努めています。



#### ●若い歌手への経済的支援

全日本合唱連盟は、経済的な理由からこのプロジェクトへの参加を躊躇することがないよう、メンバーの会期中の滞在費・食費の一部、海外から招聘される指揮者の指導料、コンサート開催費用を負担しています。

## 第9回 JCA ユースクワイアについて

### ●指導・指揮者



### Nigel Short (ナイジェル・ショート) 英国

歌手（カウンターテナー）、指揮者。  
英国王立音楽大学で声楽とピアノを学ぶ。  
世界的な声楽アンサンブル「キングズ・シンガーズ」のメンバーとして活躍。  
2001年、合唱団「テネブレ」（Tenebrae）を創設。ルネサンスから現代音楽まで幅広いアカペラ作品のレパートリーを持つ。ロンドン交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、イギリス室内管弦楽団ほかオーケストラとの共演・指揮も多い。ロンドン交響楽団とテネブレによるCDフォーレ「レクイエム」は2013年度英グラモフォン賞にノミネートされた。  
2017年、全日本合唱連盟主催の第27回コーラスワークショップ in 横浜で講師を務め、神奈川県内の高校合同合唱団、ソリスト（東京藝術大学4名）、横浜シフオニエッタとともにヘンデル《メサイア》の全曲演奏を行ない好評を博した。

### ●演奏曲目

#### グレゴリオ聖歌

Alonso Lobo (1555-1617)

Orlando Gibbons (1583-1625)

Johann Sebastian Bach (1685-1750)

Anton Bruckner (1824-1896)

Gustav Holst (1874-1934)

Samuel Wesley (1766-1837)

Edward Elgar (1857-1934)

Charles Villiers Stanford (1852-1924)

Bob Chilcott (1955-)

ほか

《Pange lingua gloriosi》 舌よ、伝えよ

《Versa est in luctum》 わがハーブは悲しみの音に変わり

《Drop, drop slow tears》 静かに涙を流しながら

《Komm, Jesu, Komm BWV 229》 来たれ、イエス、来たれ

《Os justi, WAB30》 正しき者の口は

《Ave Maria》 アヴェ・マリア

《Si iniquitates observaveris》

主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら

《O wild West Wind!》 おお、激しい西風よ

《The Bluebird》 ブルーバード

《The Modern Man I sing》 ザ・モダン・マン・アイ・シング

これまでのJCAユースクワイア 開催の軌跡

●回数／指導・指揮者／開催年・開催地



第1回：Fred Sjöberg  
フレッド・ショーベリ  
(スウェーデン)  
2012・東京



第2回：Werner Pfaff  
ヴェルナー・プファフ  
(ドイツ)  
2013・富山



第3回：Kari Turunen  
カリ・トゥルネン  
(フィンランド)  
2014・三重



第4回：María Guinand  
マリア・ギナンド  
(ベネズエラ)  
2015・山梨／東京



第5回：Robert Sund  
ロバート・スント  
(スウェーデン)  
2016・東京

©Nils Nordling



第6回：James Burton  
ジェームズ・バートン  
(英国)  
2017・埼玉

©Paul Arthur



第7回：Vytautas Miškinis  
ヴィタウタス・ミシュキニス  
(リトアニア)  
2018・島根



第8回：Dieter Wagner  
ディーター・ワーグナー  
(ドイツ)  
2019・山梨／東京

●これまでの演奏曲目

Francisco Guerrero (1528-1599)  
Felix Mendelssohn (1809-1847)  
Robert Schumann (1810-1856)  
Johannes Brahms (1833-1897)  
武満徹 (1930-1996)  
Arvo Pärt (1935-)  
Vytautas Miškinis (1954-)  
Eric Whitacre (1970-)  
Traugott Fünfgeld (1971-)  
Ola Gjeilo (1978-)

ほか

《Duo Seraphim》二人のセラフィム (熾天使)  
《Jauchzet dem Herrn》全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ  
《Im Walde》森で (ロマンスとバラード第2集作品75から)  
《Drei Gesänge, Op.42》3つの歌 作品42  
《翼》  
《Da pacem domine》主よ、平和をお与えください  
《Cantate Domino》新しい歌を主に向かって歌え  
《Sleep》眠り  
《Angel Hallelujah》エンジェルハレルヤ = **世界初演** =  
《Unicornis captivatur》囚われた一角獣

●アシスタントコンダクター

第1回：上田祥行／佐藤 匠 第2回：岸本正史 第3回：堅田優衣 第4回：田中エミ  
第5回：佐藤 拓 第6回：市川恭道 第7回：谷 郁 第8回：浜田広志